来所相談・相談会における感染症予防対策手順書（案）

１　目 的 　参加者及び従事者が感染予防を行うことで、参加者を感染症等から守ることができる。

２　方　　法　　従事者は、「感染対策チェックリスト」を感染対策として使用する。

３　対 象 者　　相談者　〇名

４　所要時間　　１人　３０分程度

５　使用会場　　〇〇センター　〇〇室（〇〇.〇㎡）

６　必要物品　　蓋つきのかごに準備する。

□擦式アルコール剤（有効期限を確認）　□非接触型電子体温計

□脇専用体温計(消毒用アルコール綿)　　□マスク、ゴーグル

□ゴミ袋、ゴム手袋(劣化していないか確認)

□アルコール（除菌シート）

７　感染対策チェックリスト

　＜参加者＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 実施 | ☑ | 対応 |
| 事前確認 | 体調確認  ※留意事項の連絡 | ・参加者の感染リスクと体調等の留意点を伝える  ①新型コロナウイルス感染者との接触の有無  ②県外等感染流行地域への外出の有無  ③本人の体調の確認  　風邪症状（倦怠感、咽頭痛、咳、鼻水等）の有無  ④家族内の体調不良者の有無  ※感染リスクに該当した場合や当日朝の検温で発熱（37.5度以上）がある場合は参加を遠慮してもらい、別日で日程を調整する。 | □ |  |
| 受付 | マスクの着用 | ・参加者がマスクを正しく装着しているか確認し、  未装着の場合は、マスクを渡し装着を依頼する。 | □ |  |
| 手指消毒 | ・入室前に擦式アルコール剤で手指消毒を行ってもらう。  ※明らかな汚れがある場合は、手洗いをしてから手指消毒を行ってもらう。  ※正しい手指消毒の仕方を確認・指導する。 | □ |  |
| 健康状態の確認体温測定 | ・事前確認表で今朝までの健康状態を確認する。  ・現在の健康状態をチェックする。  ・体温を非接触型電子体温計で測定する。  ※37.0度以上の場合は、接触型電子体温計で測定。  ※37.5度以上の発熱がある場合は参加を遠慮してもらい、別日で日程を調整する。 | □  □  □ |  |

＜従事者用＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 健康 |  | ・職場の健康チェック表に記載 | □ |  |
| 身だしなみ |  | ・爪は短いか、マニキュアは塗ってないか。手荒れはないか。  ・指輪、ネックレス、ピアスは外す。  ・髪が肩にかかっていないか。（肩に係る場合は束ねる。） | □  □  □ |  |
| 会場準備 | 会場の清掃 | ・ドアノブ、テーブル、電気のスイッチをアルコールで拭く。 | □ |  |
| 部屋の換気 | ・風が通るように、会場の窓と廊下の窓を開ける。 | □ |  |
| 飛沫の防止 | ・飛沫防止パネルを設置する。  ・相談者との会話は横並びで行う（対面にならない）。 | □  □ |  |
| 受付 | マスクの確認 | ・マスク、ゴーグルを装着する。 | □ |  |
| 相談会 | 会場の消毒 | ・相談毎に使用物品、テーブル等を消毒する | □ |  |
| 終了後 | 会場の清掃 | ・ドアノブ、テーブル、電気スイッチ等をアルコールで消毒する。 | □ |  |
| 使用物品の清掃 | ・ゴミ袋を破棄する。 | □ |  |